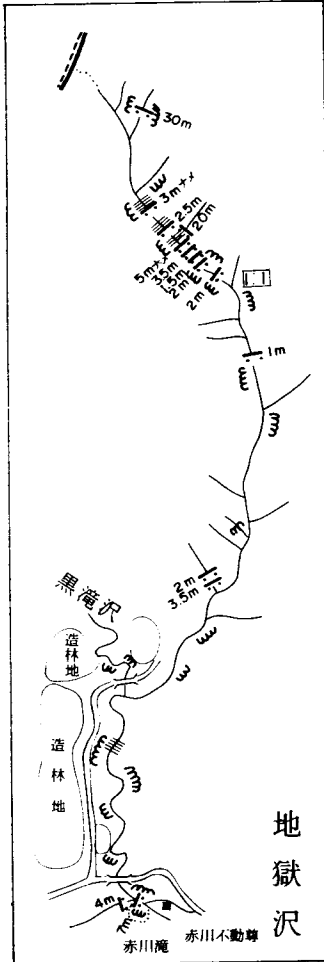


地獄沢

L
一九八二年七月二日

赤川滝から遊行開始。右俣を捲いて上に出た所でわらじをつける。すぐに橋。ここを過ぎると、沢が明るくなる。右岸はまだ若い造林地だ。しばらく進むと、沢が大きく左へ曲がる。ここに行手をふさぐような感じで岸壁が立ちふさがる。五〇程の高さ(一番高い所で)があるが、岩はボロボロである。すぐに右岸にも岸壁。先程のものより小さい。すぐにナメがある。ほどなく二俣。右の地獄沢に入る。

しばらくは平凡な沢筋が続く。水量はたいしたことない



が、沢の形状としては大きい。沢が平凡なため、ハイペースで歩ける。小滝を越え、右に同等の水量をもつ支沢を分けると、沢の様相が一変した。小滝とナメが連続する廊下状の所である。

ここを過ぎると、沢もほとんど終

わりに近い。やがて二俣。右の奥には三〇位のナメ滝がかかっている。黒滝沢の下降を予定しているのので、左に入る。

まもなく水がなくなり、ヤブこぎ五分程で尾根に出た。

(記・

「タイム」 赤川滝(七:五五) ↓ 黒滝沢 沢出合(八:三〇) ↓ 終了(一〇:五五)